

とりもどそう! ふるさとの自然

ちば環境再生基金

Chiba Environment Restoration Fund

令和元年度事業報告書



基金のマスコット
ちば犬（けん）

地球温暖化対策

自然環境の
保全と再生

循環型社会づくり

令和 2年 3月

ちば環境再生基金は、豊かな自然環境を大切な財産として子や孫の時代に引き継いでいく行動計画として千葉県が策定した「ちば環境再生計画」に基づいて、平成14年2月に(財)千葉県環境財団に設置され、現在は「千葉県環境基本計画」(平成31年3月策定)に基づき運営しています。

ちば環境再生基金では、県民の皆さんからの募金で、ふるさと千葉の自然の保全と再生を推進しています。

目 次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| I | ちば環境再生基金の概要 | 1 |
| II | 基金の事業 | |
| 1 | 県民の環境活動支援事業への助成 | 3 |
| 2 | 提案型環境再生事業への助成 | 17 |
| 3 | 環境活動見本市等普及啓発支援事業への助成 | 18 |
| 4 | 未来の環境活動担い手支援事業への助成 | 20 |
| 5 | 負の遺産対策事業への助成 | 22 |
| 6 | ちば廃食油燃料利用促進プロジェクト事業への助成 | 22 |
| III | 啓発・募金活動 | |
| 1 | 募金の状況 | 24 |
| 2 | 啓発・募金活動 | 29 |
| IV | 会議の開催状況 | 32 |
| V | 決算 | 34 |

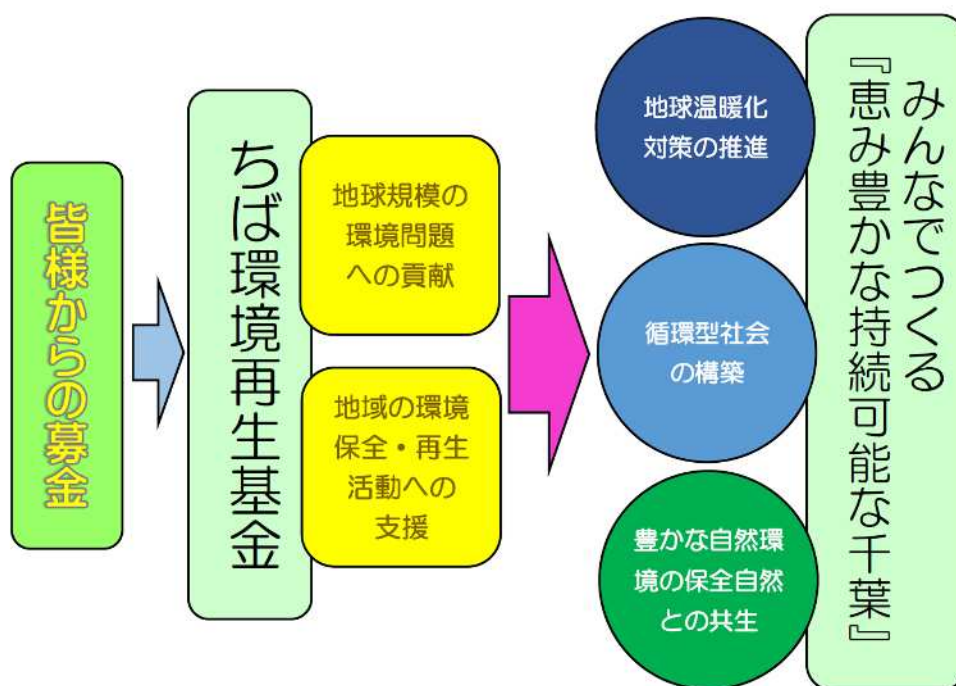
I ちば環境再生基金の概要

- 1 名 称 ちば環境再生基金
- 2 設 置 一般財団法人千葉県環境財団
- 3 設 置 年 月 平成14年2月
- 4 根 拠 「ちば環境再生計画」(平成14年2月千葉県策定)
※ 豊かな自然環境を大切な財産として子や孫の時代に引き継いでいくための
行動計画
「千葉県環境基本計画」(平成31年3月千葉県策定)

5 基金の造成

ちば環境再生基金は、県民一人ひとりが、ふるさと千葉の自然の保全と再生への思いを託せるように、600万県民が総ぐるみで行う募金活動として、身近な場所への募金箱の設置、環境イベントでの募金活動、職場募金などで協力をお願いしています。

募金等で基金に託されたお金は、取り崩し方式により、自然環境の保全・再生活動や循環型社会づくりなどを推進しています。



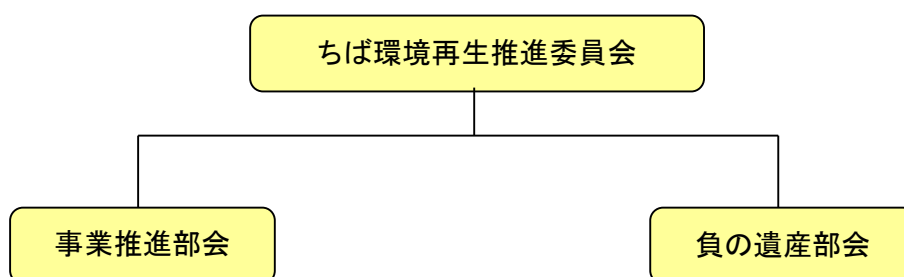
募 金 の 状 況 (令和2年3月31日現在)

| 募金区分 | 令和元年度 | | 累計 | |
|--------------|-------|-----------|-------|---------------|
| | 件数 | 金額(円) | 件数 | 金額(円) |
| 個人からの寄付 | 1 | 10,000 | 341 | 3,973,891 |
| 様々な募金活動による募金 | 15 | 128,420 | 653 | 5,243,320 |
| 企業・団体からの寄付 | 39 | 5,506,875 | 606 | 547,306,675 |
| 職場で集められた募金 | 279 | 1,749,364 | 6,441 | 51,621,219 |
| その他(出捐金・利息) | 17 | 234,743 | 313 | 625,269,200 |
| 合計 | 351 | 7,629,402 | 8,354 | 1,233,414,305 |

6 基金の運営

基金による事業を公正かつ適切に実施するために、学識経験者等で構成する「ちば環境再生推進委員会」が財団に設置されています。

また、専門的な検討を行うために、2つの部会を委員会に設置しています。



ちば環境再生推進委員会委員名簿

会 長 森田 健作(千葉県知事)
 委員 長 田畑 貞寿
 副委員 長 宮島 三郎
 委 員

(令和2年3月末現在)

| 区 分 | 氏 名 | 所 属 | 役 職 |
|-------|--------|-----------------------|---------|
| 学識経験者 | 田畑 貞寿 | 千葉大学名誉教授 | 委員長 |
| | 榊瀧 俊子 | 元淑徳大学大学院教授 | |
| | 橋立 達夫 | 作新学院大学名誉教授 | |
| 県民代表 | 桑波田 和子 | (特非)環境パートナーショップちば代表理事 | |
| | 上山 精一 | 千葉県生活協同組合連合会専務理事 | 事業推進部会長 |
| | 中岡 丈恵 | ちば環境再生県民の会代表 | |
| 地元産業界 | 宮島 三郎 | (一社)千葉県商工会議所連合会専務理事 | 副委員長 |
| | 一法師 雅巳 | 千葉県商工会連合会専務理事 | |
| | 岩津 由雄 | (一社)千葉県経済協議会専務理事 | |
| | 小茂田 勝己 | 千葉県農業協同組合中央会専務理事 | |
| 環境関係 | 杉田 昭義 | (一社)千葉県産業資源循環協会会長 | 負の遺産部会長 |
| 行政 | 冨塚 昌子 | 千葉県環境生活部長 | |

Ⅱ 基金の事業

1 県民の環境活動支援事業への助成

県民自らの手で千葉県の高貴な自然を保全し、環境を再生する自発的・継続的に活動する団体の環境活動を支援しています。

従来「公募助成要綱」や「ひまわりエコプロジェクト実施・助成要綱」により支援をしてきましたが、支援制度の見直しを行い、平成24年度事業から「県民の環境活動支援事業」として助成を行っています。

● 県民の環境活動助成の状況(最近5年間)

| 年 度 | 平成27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|-----|---------|---------|---------|----------|----------|
| 応募数 | 11事業 | 46事業 | 53事業 | 61事業 | 59事業 |
| 助成数 | 11事業 | 45事業 | 52事業 | 60事業 | 58事業 |
| 助成額 | 2,843千円 | 7,500千円 | 9,013千円 | 11,150千円 | 11,874千円 |

● 令和元年度の助成事業

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|--------------------------------|---|
| 1 | 自然環境にやさしい活動を広める会 「3R推進事業(ペットボトルキャップ回収)」 | 市川市市内全域 | 地球温暖化防止のため、3Rを推進し、ペットボトルのキャップを回収し、PP製コンパネ板の再使用に活用されるよう、市内のキャップ回収拠点から収集し市川市清掃公社の集積場所へ運搬する。 |
| 2 | 大網白里市ジュニアリーダーズクラブ 「南玉ホテル保全活動」 | 大網白里市南玉 | 年々減少の一途をたどるホテルの環境保全活動に地域の方々の指導の下、ジュニアリーダー(小学生～大学生)たちがカワニナのエサ取りやホテル観察会でのパトロール、チラシ配り、保全の呼びかけなどに取り組む。 |
| 3 | 大島田里山クラブ 「沼南近隣センター裏手の里山保全」 | 柏市大島田 | 残された樹林地を地主と共に保護し貴重植物の生育を図りつつ、憩いの里山作りを目指す。 |
| 4 | 大町教育の森の会 「大町教育の森及びその隣接の森の整備・保全活動」 | 市川市大町153番地2他 大町教育の森及びその隣接の森 | 市川市北東部の「大町教育の森及びその隣接の森」は、溝枯れ病やスギカミキリ等の病虫害に侵された枯損木があるが、都市部に残されたこの貴重な里山を生物多様性の維持・地球温暖化防止対策の面からスギカミキリ防除対策・地域の親子を対象としたイベントを開催し、森林の整備・保全活動を継続実施し、次世代に引き継ぐ。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|-------------------|--|
| 5 | おおあみ里やまの会 「『どんぐり山』憩いの里山づくり」 | 大網白里市小西 | 大網白里市小西の通称「どんぐりの山」で樹木・竹の整理、草刈りや植栽を行い、憩いの里山づくりを目指す。また地元の大網小学校の自然観察の場として整備していく。 |
| 6 | 市川市地球温暖化対策推進協議会 「平成31年度親子環境映画上映会」 | メディアパーク市川グリーンスタジオ | 親子等を対象とした環境映画の上映会を実施し、地球温暖化問題、低炭素なまちづくりの実施を促す機会を提供する。 |
| 7 | 手賀沼里山クラブ 「船戸古墳地の里山保全」 | 柏市大井 | 柏市内に残された数少ない樹林地（船戸古墳地）の里山保全活動として毎月下草刈や危険木等の伐採を行い、シュンラン、キンラン等の保護、ヤマユリの自生株から実生を増やし育て復活を目指す。 |
| 8 | オープンフォレストin松戸実行委員会 「第9回オープンフォレストin松戸」開催事業 | 松戸市内 18か所の森（一部公園） | 都市部に残されて森は「地域の宝」であり、これらの森を守るためには市民の理解と協力が必要なため、市内の森と公園において市民参加の「森の文化祭」を開催し、森林整備のボランティア団体の活動紹介や森めぐりツアーなど、身近に親しめる緑の森があり保全への協力を理解してもらう活動として実施する。 |
| 9 | (特非)いちかわ地球市民会議 「環境にやさしい暮らしのすすめ」 | 市川市公民館、小学校、イベント会場 | 日常生活のなかで実行できる環境にやさしい具体的な行動について、主に食を中心に旬・地産地消・フードマイレージ・ゴミ問題・エコクッキング等の体験型学習を通して地球温暖化と家庭や一人ひとりの行動に関わりがある事を知る普及啓発を行う。 |
| 10 | エコネットかまがや 「地球温暖化防止対策」 | 鎌ヶ谷市 | 市民や小学生等を対象とした温暖化防止対策の普及啓発事業として、ゴーヤカーテン普及、マイバッグ作りとミニ環境講座、幼稚園生及び小学生を対象とした環境学習とエコ工作の実施。 |
| 11 | いちかわ八樹の会 「天野谷津の森整備保全活動」 | 市川市 | 長年手が入らず荒れてしまった天野谷津の森の緑地を整備し、自然環境を保全しながら近隣住民が安心して散策できるようにする。 |
| 12 | 里山ボランティア流山 「大畔の森保全活動」 | 流山市大畔地区里山保全地域 | 流山市の生物多様性戦略の拠点として位置付けられている「市野谷の森」の一面にある当里山は、ワニグチソウなどの貴重な植物の自生区である。これら貴重種の保護を目指す自生区及び周辺の里山の整備、通年の保護活動、春秋の自然観察会を開催し、県民に観察の場・憩いの場を提供するとともに貴重種の保護意識の高揚を図る。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|---------------------------|---|
| 13 | ふなばし木の子の森 「ふなばし木の子の森の保全活動とわんぱく講座等」 | 船橋市神保町 275-1 ふなばし木の子の森 | 都市近郊に残された貴重な森「ふなばし木の子の森」の整備保全活動を定期的実施するとともに、植生調査、動植物調査を通し生物多様性の保全活動を行う。一般市民を対象とした森の昆虫、植物、木の実などで森の重要性を認識してもらうイベント「わんぱく講座」を開催し、市民への普及啓発活動を行う。 |
| 14 | 金東もみじの会 「平塚地区、金東地区里山保全活動」 | 鴨川市平塚・ 金東地区里山保全地域 | 鴨川市平塚地区高蔵山の森が管理されずに荒廃していることから、杉、檜の間伐、枝打ち、モミジの植栽、雑種地の草刈を行い四季豊かな森とし、憩いの場に再生するとともに、この森を活用し、夏季に小学生を対象とした自然観察会を開催し、樹木について興味を持つ子供たちを育てる。 |
| 15 | 余山貝塚美化の会 「余山貝塚及びその周辺の環境を整備、維持する活動」 | 銚子市余山貝塚と周辺地域 | 市の指定史跡で全国的にも有名な余山貝塚は縄文時代の暮らしを知る貴重な遺跡である。この貴重な貝塚を綺麗な環境を後世に残すため、貝塚及びその周辺の環境を整備、維持するための活動である。 |
| 16 | ゆうゆう里山会 「市川市の緑地の整備」 | 市川市柏井2丁目緑地 | 市川市が約40年前に取得し、その後放置された緑地のゴミ拾い、枯損木の処理、日照が減り裸地化した森林内の植生の回復、園道の整備等を行い、市民が安心して散策できるように緑地の保全整備活動を行う。 |
| 17 | 浦安三番瀬を大切に作る会 「海にありがとう一日の海の海を大切に作る事業」 | 日の出北公園と三番瀬緑道及び三番瀬浅瀬・干潟 | 三番瀬クリーンアップ大作戦とともに「海にありがとう」イベントを開催して、市民が活動に参加し易い場をつくり、三番瀬を身近に感じてもらい、海岸の環境保全及び周辺のきれいな緑道・公園づくりを目指す。 |
| 18 | 三ツ堀里山自然園を育てる会 「三ツ堀里山自然園を保全し育てる活動」 | 野田市三ツ堀里山自然園 | 三ツ堀里山自然園について、市民目線での管理計画を作成し、園内の草刈りや樹木の剪定、希少動植物の保護活動や、里山の魅力を伝えるイベントを開催し、多くの野田市民に三ツ堀里山自然園の環境保全に関心を持ってもらう活動を行う。 |
| 19 | 十枝の森を守る会 「十枝の森環境保全事業(混在する、竹林整備と雑木林の整備)」 | 大網白里市北吉田178 | 両総用水の生みの親、十枝雄三翁の屋敷跡を文化財として後世に伝え、鬱蒼としている森を、日当たりと風通しの良い森に変え、文化団体等の参加を促し、市民が癒される憩いの森として保全と整備活動を行う。 |
| 20 | 高根台フラワーガーデン 「花時計花壇で地域活性化」 | 高根台団地入り口花壇周辺 | 花壇作業及び周辺地域の草刈・ゴミ拾い等環境保全活動を通じて、人と人とのつながり・絆を深め、子供から大人まで地域全体で自然環境保全意識の向上を目指す。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|---|---------------------------------------|--|
| 21 | 浦安水辺の会 「境川クリーンアップ」 | 浦安境川下流域護岸とテラス | 境川は浦安の代名詞といえる川だが、護岸にゴミが多く市民の活用も限られている。クリーンアップを通じて水辺を大切にすることを育み、地域の自然を大切にすることを促進することをねらう。様々なまちづくり団体との連携を深めつつ境川がより安心安全な水辺として活用できるようにすることを目指す。 |
| 22 | ルート99白里 「九十九里浜白里海岸・自然公園産業道路歩道区域保全活動」 | 県道30号線大網白里市四天木～北今泉地区海岸砂浜、自然公園歩道花壇保全区域 | 九十九里浜白里海岸地域の海岸地域(白里海岸から自然公園から県道30号沿花壇歩道まで3.6km)地元の住民で(高齢者化率進む中)周辺の環境保全活動を図る。 |
| 23 | 街資源再興プロジェクト 「九十九里浜における海浜植物の保護活動」 | 白里海岸を中心とした九十九里浜周辺 | 九十九里浜の防波堤工事によるハマボウフ等の海浜植物への影響を観察・調査し、工事終了後に速やかに元の自然を取り戻すための保護活動。ハマボウフウの生息域の維持・拡大するためのハマボウフ里親との生育調査を兼ねた事例発表会、活動展示を開催する。 |
| 24 | (特非)環境パートナーシップちば 「ちばSDGsフォーラム開催事業」 | 千葉県内 | 「ちばSDGsフォーラム」を開催し、2015年国連が提唱した持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、参加した団体や県民などと連携を深め、今後の活動の原動力の場とする。 |
| 25 | ヤマトミクリの里づくり協議会 「ヤマトミクリの里づくり～湿地と台地の活用検討と生き物調査～」 | 八千代市島田・桑納地区 | 県内唯一生息が確認されている最重要保護種「ヤマトミクリ」をシンボルとして、八千代市島田・桑納地区の谷津・里山の保全、再生利用を推進する街づくりを目指す。森の整備、湿地の保全整備、ヤマトミクリ、休耕田植生、野鳥、昆虫の生息調査、水の涵養能向上のための台地(畑地)の適応作物などの検討を行う。 |
| 26 | (特非)水と森と人IN神崎 「郷土環境保全地域の森林保護育成」 | 成田市吉岡 | 荒廃した山林を整備し、異常気象等による災害予防、防止並びに、動植物の生態系の維持、保水能力向上等を通じ人と自然の共を図る。 |
| 27 | エコマリン大網 「地球温暖化対策の地域住民および児童、生徒への普及啓発活動」 | 大網白里市内の各自治会内、地域の催し会場、学校等 | 大網白里市民の地球温暖化防止対策への意識の高揚を図るため、行政と協力して普及啓発事業として住民を対象とした出前講義、小中学校での出前講座、一般市民を対象とした専門家を講師に招いた講演会を開催するとともに、地球温暖化防止に関する光熱費等についてアンケート調査を行い、今後の温暖化対策(スマートタウン形成)の基礎資料を得る。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|---------------------------------------|--|
| 28 | アースコン・マツド 「松戸市の環境保全活動」 | 松戸市 | 将来を担う子供達や市民に環境保全活動を環境学習や講演会を通して、広めていき地球温暖化の現状を認識し、自ら行動するためのきっかけ作りを図る。(気づき) |
| 29 | 四街道メダカの会 「クマガイソウ群落保全・講演会 開催事業」 | 四街道市 | 放置された竹林の整備を行い、国・千葉県が絶滅危惧種Ⅱ類(vu)に指定しているクマガイソウの群落保全を行う。また、自然や生物多様性の大切さを広く市民に啓蒙・アピールするため講演会を開催する。 |
| 30 | いちかわ里山整備隊 「市川市の環境整備」 | 小塚山・柏井 染谷緑地 | 市川市は森林率が2.2%と低く、緑地も年々減少しているため、残された緑地の整備を行い、市民が安心して散策できる、明るく季節を感じられるよる森の保全・整備活動を行う。 |
| 31 | ぼっけ生きもの倶楽部 「純絶滅危惧種アサザ・ガガブタの復元」 | 市川市 | かつて生育していた希少植物アサザ・ガガブタの復元を行う。棚池の優占種であるガマ、キシユスズメノヒエ、アシなどの植生を撤去する。養生した場所にアメリカザリガニ侵入防止のネットを設置して、その中にアサザ・ガガブタの苗を移植する。 |
| 32 | 船橋市地球温暖化対策地域協議会 「『ふなばしので"減らせCO2"!!』地球温暖化防止対策啓発事業」 | 船橋市全域 | 地域における地球温暖化対策を推進するため、地域住民の力を集結して、地球温暖化防止活動等の活性化と啓発を図るため、親子エコ・クッキング教室、夏休みファミリー環境映画化上映会、環境施設見学会などの各種事業を実施し、県民の地球温暖化防止活動の意識の向上を目指す。 |
| 33 | ちば千年の森をつくる会 「地域に開かれた生物多様性 保全の森づくり」 | 君津市豊英地区(豊英ダム 内豊英島) | 君津市豊英ダム内の豊英島は、一般の人の立ち入りが制限されているため生物多様性が非常に豊かで、当団体も継続的に植物、動物、野鳥、野生キノコなどの各種モニタリングを行い、年3回の一般公開を行ってきた。これらの活動の一層の活性化を図るため、本年度は、野生キノコの多様性に着目した「野生キノコが支える森の生態(仮題)」とする環境学習会を開催し、豊かな自然を幅広く情報発信する。 |
| 34 | 松戸里やま応援団「七喜の会 「紙敷石みやの森保全活動」 | 松戸市紙敷2 -10-1~3 の樹林地及び 隣接する農地 | 宅地化の進んだ松戸市に残された森を整備保全し、「健康と癒しの空間」として広く市民が森に親しみ交流できる場所とするため、森林内の投棄ゴミの回収整理、荒れた外周路(市道)の整備、枯折倒木の伐採、間伐、下草刈りなどを定期的に行うとともに、散策会・森めぐりツアー・農園収穫祭を通じて市民とみどりの交流を図る。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|------------------------------|--|
| 35 | 三番瀬写真展実行委員会 「私たちの三番瀬自然観察・撮影会開催事業」 | ふなばし三番瀬海浜公園ほか | 東京湾に残された三番瀬において、生物多様性啓発の一環として、参加者自らが「自然とのふれあいを体感」し、観察・撮影することにより、三番瀬の生物多様性について感じ、海の生き物への保護意識をより一層高める事業とする。 |
| 36 | 鷹の台自治会花と健康づくりの会 「花見川河川敷等を利用した公園づくり事業」 | 花見川弁天橋以北の花見川河川敷及び周辺遊休地 | 河川敷等の遊休地を利用した公園化構想に基づき鷹の台弁天緑地(河川敷)を拠点に周辺部の公園化、名所化を推進し住みよい環境の地域社会を住民自らの手で作り上げる。会員の様々な得意分野を生かし役割分担を決めて推進する。 |
| 37 | 風呂の前里山保存会 「里山に自主する希少生物の保護及び環境整備活動」 | 市原市喜多字風呂ノ前 524番地、525番地及びその周辺 | 風呂ノ前里山には絶滅危惧種やカタクリなどの希少植物が自生し、これらの保護・保全する里山環境の維持活動を実施する。市民参加の自然観察会などを開催し、より多くの市民に里山の保護意識を高めてもらう啓発活動を行う。近年の急速な温暖化の影響に対応した里山の環境整備方法を工夫し、市民に希少植物に対する保護意識を高めてもらう事業とする。 |
| 38 | アースドクターふなばし 「地球温暖化防止対策・啓発活動および学習活動」 | 船橋市 全域 | 地球温暖化防止テーマに各種出前講座を通して、温室効果ガス削減の啓発活動を推進してきているが、具体的ツールによる体験:工作をすることにより、市民の意思向上及び具体的行動に結びつく啓発活動を展開する。 |
| 39 | 江戸前おさかな研究会 「東京湾の生物多様性とその資源活用の啓発活動」 | 県内の東京湾北部沿岸ぞい市町村 | 保育園、小学校での「お魚授業」、「調査クルージング」等を開催し、子どもたちに身近な東京湾の環境、生き物を知って・好きになってもらい、海の資源の可能性と環境への意識を高める事業として実施する。 |
| 40 | 九十九里浜の自然を守る会 「九十九里浜における希少動植物等の保護・保護活動」 | 九十九里浜 | 優れた自然環境と貴重な動植物の生息地である九十九里浜の環境保全のため、砂丘地帯の希少動植物の保護、海岸砂丘部への車両乗り入れ規制啓発、うみがめ産卵・ふ化率向上支援、町民等への自然環境保護啓発活動や海岸環境美化活動を実施する。 |
| 41 | 手賀沼水生生物研究会 「市民による手賀沼及び周辺水域における水辺の生きもの保全活動とその普及啓発活動」 | 我孫子市 | 手賀沼及びその周辺地域に生息する水生生物及びその育成・生息地保全のため、生きもの調査、自然観察会、地域イベントへの参加(魚類展示、タッチングプール、勉強会など)、湧水池における環境保全、自然再生、勉強会などを実施する。 |


| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|---|-------------------------------|--|
| 42 | NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会 「三番瀬の環境保全啓発事業」 | ふなばし三番瀬海浜公園・海老川・船橋市役所美術コーナー等 | 東京湾に残された干潟・浅海域の三番瀬は、野鳥の飛来地であり貴重なカキ礁も多数存在する多様な生物が生息する豊かな浅海域である。そのため、親子を対象とした自然観察会、三番瀬食文化出前講座を開催するとともに、市役所ロビーにおいて市民に三番瀬の自然を知ってもらう写真展を開催する。 |
| 43 | NPO 法人水辺散歩 「高崎川散策ルート美化活動」 | 佐倉市鏑木町地先(高崎川沿い) | 高崎川右岸周辺の印旛沼里山ウォーキングルート周辺は、現状では雑草が繁茂し散策できる状況ではないことから、「できる人が、できる時に、できる事を」をモットーに高崎川土手周辺の草刈、外来種の除去作業、ゴミ拾い、川の中の清掃を行うことにより、快適な水辺の散策ルートを維持する。 |
| 44 | フィールドミュージアム・三番瀬の会 「三番瀬フィールドミュージアム観察会」 | 船橋市、市川市、浦安市、習志野市 | 三番瀬の干潟から周辺の緑地・河川をつなぐフィールドにおいて、一般市民による調査・観察会や他団体との交流シンポジウムを通じて、三番瀬の自然と人間とのつながりを理解し伝え、三番瀬保全の意識の高揚を図る。 |
| 45 | (特非)いづみの会 「鶴舞『いづみの森』整備事業 | 市原市 | 世界的な課題である地球温暖化防止対策の一環として県有林の保全(植栽及び下刈・打ち枝・間伐等の保育作業)を行う。 |
| 46 | (特非)行徳野鳥観察舎友の会 「行徳鳥獣保護区生き物調査と観察会・写真展」 | 市川市行徳鳥獣保護区 | 行徳鳥獣保護区に生息する生き物の調査並びに観察会と写真展を行い、広く一般の方々に自然環境への興味、行徳鳥獣保護区への保全意識を持ってもらうきっかけづくりとする。 |
| 47 | ふれあい千葉 「東国吉『ふれあいの森』の整備及びその周辺の森林、里山の整備活動」 | 市原市東国吉地先 | カヤ・ツルの原野を開墾し樹木、草花を植栽してきた「ふれあいの森」を地域の方がさらに散策できるよう冬の樹木を植栽し整備する。森の下草刈り、除伐、枝打ち、竹林の整備活動は、林業女子会や他団体との協働活動として実施する。 |
| 48 | いちはら里山クラブ 「市原の豊かな自然を護る里山整備・維持・保全活動」 | 市原市古敷谷等、千葉県里山活動協定認定地を含む4ヶ所の地域 | 市原市内 4 ヶ所の雑木林、竹林、休耕田、トンボ池、古墳群周辺の整備・維持・保全等、自然環境保全活動について年間活動スケジュールを定め継続実施していく。また一般市民等向けに里山活動体験や自然観察会を実施し、自然保護の大切さや里山活動の楽しさ、環境保全意識の高揚拡大を図るためのイベントも行う。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|--|----------------------------------|--|
| 49 | (特非)水環境研究所 「下総台地の湿地帯における水質浄化機能に関する調査」 | 印旛沼流域 | 印旛沼の水質改善には、谷津田等の湿地帯が持つ自然浄化力が呼ばれている。しかし、その浄化効果が硝酸性窒素の分野によるものか、希釈によるものか不明な点が多い。事業では、水に含まれている安定同位体の変化から湿地帯の持つ自然浄化力を明らかにし、湿地帯及び湖沼の水環境改善活動へ繋げていこうとするものである。 |
| 50 | (特非)ちば里山センター 「ちば里山カレッジ『森を知ろう・森に学ぼう』」 | 千葉県内 | 里山条例施行後10年余りが経過し、里山保全活動第一世代の高齢化と後継者不足が課題となってきたため、25～27年に「ちば里山カレッジ」を、28～29年に「ちば里山カレッジ・フォローアップ研修」を開催し、延べ418名が受講。この里山カレッジ卒業生により各地で里山活動が実施されてきた。平成30年度からは、新たな視点で「ちば里山カレッジ森を知ろう・森に学ぼう」を開設し、より幅広いプログラムを展開することで新たな里山活動の輪を広げ活躍できる人材を発掘する内容とする。 |
| 51 | (特非)こびすくらぶ 「船橋市内受託森林の整備と保全」 | 船橋市内の森林計画対象地 | 森林所有者の高齢化や社会環境の変化により放置され荒廃した都市近郊林を『森林経営計画』に基づき森林の再生・自然景観形成の観点から整備を行い、その相続を容易にし、健全な森林環境に戻すことで、森林所有者及び市内住民の次世代に引き継ぐ事業であり、併せて整備事業に伴い発生する間伐材の薪材への利用を図る。 |
| 52 | (特非)谷田武西の原っぱと森の会 「牧の植生を伝える里山の保全活動」 | 白井市谷田、 印西市武西 | ニュータウン開発の中に残された谷田・武西地区の原っぱ・森・湿地は、牧を彷彿とさせる在来の植生・生きものからなる生態系が確保されているが、この里山環境を今後とも維持するため、下草刈りなどの定期的な保全活動や草原性植物の保護・モニタリング調査、不法投棄されたゴミなどのクリーン活動を実施するとともに、広く市民が里山環境を体験できる自然観察会などを開催する。 |
| 53 | (特非)しろい環境塾 「冬水田んぼと里山学校 2019」 | 白井市平塚周辺(竹下谷津、大堤谷津、山王谷津)、白井市金山落周辺 | 持続可能な社会をつくるため、身近な自然、地域の自然と文化を探求し、郷土愛や地球の愛着心を育て、自ら主体的に行動できる子どもたちを育成することを目的に、休耕田に湧水を利用した冬水田んぼを作り、ニホンアカガエルなどの水生生物相を再生させ、子どもたちの観察の場、遊びの場としてきた。この活動場所で、子どもたちに里山の田んぼの役割、生き物と人間の暮らしを体験するプログラムを実施する。 |

| 団体名・事業名 | | 活動地域 | 事業概要 |
|---------|---|--|---|
| 54 | いすみ竹炭研究会 「いすみ市の荒廃した山の竹藪整備と土壌改良活動」 | いすみ市全域 | いすみ市は 97%が民有林。高齢化で里山は荒廃が進み、山を竹が覆って藪化し、夷隅川から流れてくる竹は海岸を埋め尽くし、大きな問題となっている。竹は最良の土壌改良材と言われており、藪化した山を整備し、切り出した竹を竹炭にして、いすみの地に戻し、次世代の為に、より良い自然環境の保全を推進する。 |
| 55 | (特非)バランス21 「谷当町の谷津田再生と里山林の環境再生保全(その4)」 | 千葉県若葉区谷当町の一角、堂谷津谷津田と斜面林、周辺里山林の整備保全(間伐整備、危険木整備) | 谷津田再生と周辺里山林の環境保全を図るため、冬期湛水・不耕起栽培の水田を復興し、従来生息していた生き物を復活させる。併せて周辺斜面林を整備し、生物多様性に富んだ里山環境を維持する。また、里山及びその周辺の生物調査(二ホンアカガエル、ホタル、オムラサキ飛翔等)、里山斜面の管理として倒木や危険木の伐採、湧水確保のための土質調査等を実施する。 |
| 56 | ボランティア集団山人 「豊かな生態系・豊かな自然・豊かな心を育み事業」 | 香取市 | 里山の荒廃は、多くの人々の「自然に親しむ機会」の乏しさも一因。そこで多くの人に「自然と触れ合う機会」を用意し、自然の豊かさへの気づきを促しつつ、多くの人との交わりを通して、一緒になって豊かな自然環境づくりを目指す。 |
| 57 | 市原米沢の森を考える会 「内田地区の自然と歴史・文化の保全再生活動」 | 市原市内田地区米沢・真ヶ谷・宿(旧内田村) | 内田の森周辺は、昔、陣屋が置かれ、多くの史跡や古地図などが残っているが、豊かで美しかった自然は過疎化・高齢化により荒廃が進んでいる。 今のうちに自然や歴史・文化を整備することで次の世代へ繋げたい。市原の観光資源となるように地域住民や県民の活動参加を呼びかけていく。 |
| 58 | (特非)森のライフスタイル研究所 「山武市蓮沼殿下海岸林再生活動2019(3.11 復活の森づくり4)」 | 山武市蓮沼殿下海岸保安林 | 3.11 の津波被害を受けた海岸保安林の復興をめざし、千葉県と「法人の森協定」を結び、2011 年より枯損木の伐採、チップ化、敷き詰め、植林、下草刈りを繰り返し行っていく。 |

令和元年度支援事業 活動事例紹介

| 県民の環境活動支援事業 | いちほら里山クラブ 「市原の豊かな自然を護る里山整備・維持・保全活動」 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|---|---|----|---|----|
| <p>1989年4月から市原市内4ヶ所の雑木林、竹林、休耕田、トンボ池、古墳群周辺の整備・維持・保全等、里山の保全活動を通じて自然環境の保護に努めている。活動の実施に当たっては、地権者と県の里山条例に基づく協定を結び県の認定を受け年間活動スケジュールを定め継続実施している。</p> <p>また一般市民等向けに里山活動体験や自然観察会を開催し、自然保護の大切さや里山活動の楽しさ、環境保全意識の高揚を図るためのイベントも行っている。</p> <p>1 里山整備活動</p> <p>千葉県里山活動拠点認定場所の4箇所(合計面積4.2ha)において、雑木林、竹林、溜池、古墳群周辺の整備・維持・保全等、自然環境保全活動を行い、ほぼ年間の活動計画通り約50回活動した。</p> <p>なお、2019年度は2度の大型台風(9/9台風9号、10/25台風15号)が襲い、市原市を含む里山活動地の森林・竹林での倒木等の被害が発生したため、年度後半にはこれらの被害の処理に多くの時間を費やさねばならなかった。</p> | <p>2019年度 活動実績(備考)</p> <table border="1" data-bbox="869 302 1420 504"> <thead> <tr> <th>活動場所</th> <th>古敷谷</th> <th>高坂</th> <th>天羽田</th> <th>立野</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動回数</td> <td>25</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県民参加によるイベント開催</p> <p>「旬の野草を楽しむ会」(4/20古敷谷 参加者28名)、自然観察会(12/7)を開催するなど、当団体の多年にわたる環境美化環境保全活動に対し2019年6月26日に千葉県知事より「環境功労者知事感謝状」が贈呈された。</p>  | 活動場所 | 古敷谷 | 高坂 | 天羽田 | 立野 | その他 | 合計 | 活動回数 | 25 | 3 | 6 | 15 | 4 | 53 |
| 活動場所 | 古敷谷 | 高坂 | 天羽田 | 立野 | その他 | 合計 | | | | | | | | | |
| 活動回数 | 25 | 3 | 6 | 15 | 4 | 53 | | | | | | | | | |

| 県民の環境活動支援事業 | 浦安三番瀬を大切にする会 「海にありがとうー日の出の海を大切にする事業ー」 |
|--|---|
| <p>三番瀬が東京湾奥部に残された貴重な干潟・浅海域のため、浦安市内外の人々が三番瀬を身近に感じ、海岸環境保全及び周辺のきれいな緑道・公園づくりを目指す活動団体として2003年から活動している。</p> <p>1 活動場所</p> <p>浦安市日の出北公園、日の出海岸沿い三番瀬緑道及び三番瀬浅瀬・干潟</p> <p>2 主催事業の開催・協働事業等への参加</p> <p>(1) 三番瀬ミニクリーンアップ</p> <p>毎月第1日曜日に浦安市日の出北公園から三番瀬海岸においてごみ拾い・自然観察の環境学習を実施してきたが、2019年度は年間計画10日の開催で毎回5～15名の参加があった。</p> <p>なお、うち6月分は「第1回うらやす三番瀬感謝祭(三番瀬クリーンアップ大作戦を名称変更)」として実施し、参加者300人、回収したゴミは可燃物120kg、不燃物210kgとなった。</p> | <p>(2) 自然環境学習</p> <p>浦安市内外の人々に三番瀬が多くの渡り鳥の中継地として重要な場所となっているため、2020年1月に「三番瀬の生き物たち～野鳥観察～」を開催するとともに三番瀬環境観察館において浦安野鳥の会の講師から三番瀬に集まる野鳥や渡り鳥についてお話を伺った。</p> <p>(3) 参加・協働開催事業</p> <p>浦安水辺の会による境川クリーンアップ事業やEーボート体験、親子はげつり教室など協働事業も開催した。</p>  |

| 県民の環境活動支援事業 | アースドクターふなばし 「地球温暖化防止対策・啓発活動および学習活動」 |
|---|---|
| <p>2007年7月から地球温暖化防止をテーマに各種出前講座を開催し、温室効果ガス削減の啓発活動を推進しているが、実施に当たっては具体的なツールによる体験・工作を通じ市民の地球温暖化対策への意識向上及び具体的な行動に結びつく啓発活動としている。</p> <p>1 出前講座・出前授業等の実施結果(2/8まで)</p> <p>(1)実施日数 70日(小中学校、高校、公民館等)</p> <p>(2)実施講座数 児童・親子向け講座 40 成人向け講座 9</p> <p>(3)講座参加者数 2,560人 (フェア、イベント等の来場者を除く。)</p> <p>2 講座等のプログラムの内容</p> <p>(1)子供・親子向けの出前講座</p> <p>出前授業の実施にあたっては、</p> <p>①地球温暖化・再生可能エネルギーのお話と船橋市の18のアクションの進捗状況</p> <p>②体験と工作では、色々な家電製品のワットの測定、ソーラーパネル・風力発電のミニカー走行を組合せ、楽しく解りやすい講座とした。</p> | <p>(2)成人向けの環境講座・講演会講師派遣</p> <p>公民館主催の生活学校環境講座(8/23 薬園台公民館、2/17 法典公民館 74人参加)では、</p> <p>①地球温暖化問題を考える</p> <p>・地球温暖化の現状と将来予測、2100年の天気予測、日本の目標と対策、温暖化対策(適応策)、身近な熱中症予防</p> <p>②地球温暖化とSDGs</p> <p>・持続可能な開発目標、ごみ、食品ロスの現状</p> <p>4図書館主催講演会「深海のふしぎ」(1/25 中央公民館 105人参加)へ当団体から講師派遣した。</p> <div data-bbox="911 779 1337 1077" data-label="Image"> </div> |

| 県民の環境活動支援事業 | いすみ竹炭研究会 「いすみ市の荒廃した山の竹藪整備と土壌改良活動」 |
|---|--|
| <p>いすみ市は、県内でも竹林が多い地域であるが、里山から住宅地に及ぶ広い範囲で藪化した竹林が放置され、大雨の後に夷隅川から海岸に流失する大量の竹が大きな問題となっている。そのため、当団体は、2016年11月から放置竹林問題解決に取り組む活動として荒れた放置竹林を美しい竹林に整備し、切出した竹から土壌の環境改善に効果的な竹炭を作り、里山や田畑に還元する活動を行っている。</p> <p>1 竹林の整備・竹炭作り</p> <p>いすみ市内を毎月1~4地区に分け当月の整備地区とし、3か年で竹林38か所、582回の放置竹林の整備活動を行い、竹炭の原料となる竹材を確保し、竹炭作り240回、165トンの竹炭を製造した。</p> <p>2 竹炭周知イベント等の開催</p> <p>ポーラス(多孔質)な竹炭が土壌の環境を改善し、土壌微生物の働きで土が団粒化し作物の生育を促すなどの効果を知ってもらうため、概ね毎月1回のペースで竹炭周知イベントを開催した。</p> | <p>3 「竹炭シンポジウム in いすみ」の開催</p> <p>2019年11月10日には、夷隅文化会館大ホールで(専門家として高田造園設計事務所の高田氏ほかを開催し、「竹を資源に変えてー放置竹林・流竹をなくそう!ー」をテーマに竹炭の普及について広く市民に周知した。</p> <p>4 竹炭モデル農園の設置・管理</p> <p>竹炭の農業に対する可能性の実証実験のため、いすみ市大原の圃場において竹炭のみを鋤き込み完全無農薬野菜作りを行い、その効果を確認している。</p> <div data-bbox="855 1659 1378 2018" data-label="Image"> </div> |

●令和2年度の交付決定事業

| | 団体名 | 活動・事業名 | 活動地域 |
|----|-----------------------|--|-------|
| 1 | ゆうゆう里山会 | 市川市の緑地の整備 | 市川市 |
| 2 | 大島田里山クラブ | 沼南近隣センター裏手の里山保全 | 柏市 |
| 3 | 街資源再興プロジェクト | 九十九里浜における海浜植物の保護活動 | 大網白里市 |
| 4 | 大網白里市ジュニアリーダーズ クラブ | 南玉ホテル保全活動 | 大網白里市 |
| 5 | おおあみ里やまの会 | 「どんぐり山」憩いの里山づくり | 大網白里市 |
| 6 | (特非)銚子海洋環境調査隊 | 銚子市君ヶ浜海洋プラ調査 | 銚子市 |
| 7 | エコネットかまがや | 地球温暖化防止対策 | 鎌ヶ谷市 |
| 8 | 里山ボランティア流山 | 大畔の森保全活動 | 流山市 |
| 9 | 手賀沼里山クラブ | 船戸古墳地の里山保全 | 柏市 |
| 10 | (特非)いちかわ地球市民会議 | 環境保全・地球温暖化防止 | 市川市 |
| 11 | 三ツ堀里山自然園を育てる会 | 三ツ堀里山自然園を保全し育てる活動 | 野田市 |
| 12 | 市川市地球温暖化対策推進協議会 | 令和2年度親子環境映画上映会 | 市川市 |
| 13 | 本須賀波乗り倶楽部 | 本須賀海岸ビーチクリーン | 山武市 |
| 14 | いちかわ八樹の会 | 天野谷津の森整備保全活動 | 市川市 |
| 15 | ぼっけ生きもの倶楽部 | 大柏川第一調節池緑地棚池区域の自然環境の 再生・保全活動「漁礁の設置」 | 市川市 |
| 16 | 余山貝塚美化の会 | 余山貝塚及びその周辺の環境を整備、維持する 活動 | 銚子市 |
| 17 | ふなばし木の子の森 | ふなばし木の子の森の保全活動とわんぱく講座 等 | 船橋市 |
| 18 | いちかわ里山整備隊 | 市川市の環境整備 | 市川市 |
| 19 | (特非)リトカル | 住民参加型の生き物観察会・樹名版設置活動 | 千葉市 |
| 20 | 大柏川かはづ会 | 大柏川景観活動 | 市川市 |
| 21 | 八千代里山ロック隊 | 島田台地区里山保全活動 | 八千代市 |
| 22 | 十枝の森を守る会 | 十枝の森の自然環境保全事業 | 大網白里市 |

| | 団体名 | 活動・事業名 | 活動地域 |
|----|-------------------------|------------------------------------|-------|
| 23 | 浦安水辺の会 | 境川であそぼう | 浦安市 |
| 24 | 浦安三番瀬を大切にする会 | 海にありがとう | 浦安市 |
| 25 | (特非)水と森と人IN神崎 | 郷土環境保全地域の森林保護育成 | 成田市 |
| 26 | ルート99白里 | 九十九里浜白里海岸・自然公園産業道路歩道 区域環境保全活動 | 大網白里市 |
| 27 | エコマリン大網 | 地球温暖化対策の地域住民および児童、生徒 への普及啓発活動 | 大網白里市 |
| 28 | ヤマトミクリの里づくり協議会 | ヤマトミクリの里づくり～生き物調査まとめと里の 活用～ | 八千代市 |
| 29 | 八千代市ほたるの里づくり実行委員 会 | ヘイケボタルをシンボルにした多様な生物がす める環境づくり | 八千代市 |
| 30 | 高根台フラワーガーデン | 花時計花壇で地域活性化 | 市原市 |
| 31 | 自然エネルギーを広めるネットワー クちば | 「不都合な真実2:放置された地球」上映会&ト ークセッション | 市川市 |
| 32 | アースコン・マツド | 松戸市の環境保全活動 | 松戸市 |
| 33 | 大町教育の森の会 | 大町教育の森及びその隣接の森の整備・保全活 動 | 市川市 |
| 34 | 栗野の森の会 | 栗野地区公園内栗野の森の保全活動 | 鎌ケ谷市 |
| 35 | ちば千年の森をつくる会 | 地域に開かれた生物多様性保全の森づくり | 君津市 |
| 36 | (特非)行徳野鳥観察舎友の会 | 行徳鳥獣保護区 生き物調査と観察会・写真展 並びに土壤環境調査 | 市川市 |
| 37 | 松戸里やま応援団「七喜の会」 | 紙敷石みやの森保全活動 | 松戸市 |
| 38 | おゆみの道・緑とせせらぎの会 | 消えつつあるおゆみ野の自然を次世代につなぐ 活動 | 千葉市 |
| 39 | 鷹の台自治会花と健康づくりの会 | 花見川河川敷等を利用した公園づくり事業 | 千葉市 |
| 40 | 三番瀬写真展実行委員会 | 私たちの三番瀬自然観察・撮影会・写真展開 催・写真集発行事業 | 船橋市 |
| 41 | アースドクターふなばし | 地球温暖化防止対策・啓発活動および学習活動 | 船橋市 |
| 42 | 九十九里浜の自然を守る会 | 九十九里浜における希少動植物等の保護・保 護活動 | 白子町 |

| | 団体名 | 活動・事業名 | 活動地域 |
|----|---------------------|---|------------|
| 43 | 長生地区九十九里海岸クリーン対策協議会 | 九十九里海岸クリーン事業 | 九十九里浜 |
| 44 | NPO 法人水辺散歩 | 印旛沼流域における河川美化及び里山・黒田保全活動 | 佐倉市 |
| 45 | 船橋市地球温暖化対策地域協議会 | 『ふなばしの力で”減らせCO ₂ ”!!!』 地球温暖化防止対策啓発事業 | 船橋市 |
| 46 | 手賀沼水生生物研究会 | 市民による手賀沼及び周辺水域における水辺の生きもの保全活動とその普及啓発活動 | 我孫子市 |
| 47 | 金東もみじの会 | 平塚地区、金東地区里山保全活動 | 鴨川市 |
| 48 | フィールドミュージアム・三番瀬の会 | 三番瀬フィールドミュージアム観察会及び近隣沿岸地域観察会 | 船橋市他 |
| 49 | 大多喜チクリンジャー | 竹林整備と竹の魅力宣伝活動 | 大多喜町 |
| 50 | (特非)千葉自然学校 | 子供たちとおこなう「ろくすけ」生き物多様性保全の取り組み | 南房総市 |
| 51 | 亀成川を愛する会 | 谷津に親しむ公園づくり | 印西市 |
| 52 | ふれあい千葉 | 東国吉『ふれあいの森』の整備及びその周辺の森林、里山の整備活動 | 市原市 |
| 53 | いちはら里山クラブ | 市原の豊かな自然を護る里山整備・維持・保全活動 | 市原市 |
| 54 | (特非)ちば里山センター | ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 | 千葉県内 |
| 55 | (特非)水環境研究所 | 下総台地の湿地帯における水質浄化機能に関する調査 | 佐倉市 |
| 56 | 風呂の前里山保存会 | 里山に自主する希少生物の保護及び環境整備活動 | 市原市 |
| 57 | エコファースト君津 | うちエコ診断会の広域開催による地球温暖化防止活動推進 | 君津市他 |
| 58 | 千葉県立松戸南高等学校科学研究部 | 耕作放棄水田の整備及び生態系再生を行うための非電力自動汲み上げポンプ(水撃ポンプ)の性能向上の研究、水生生物の研究 | 松戸市 白井市 |
| 59 | (特非)印旛沼広域環境研究会 | 印旛沼水質浄化のための人工浅瀬いかだ(水草園)の整備及びかっぱ公園における環境学習事業の実施 | 佐倉市 |

| | 団体名 | 活動・事業名 | 活動地域 |
|----|------------------|-----------------------------------|------|
| 60 | (特非)谷田武西の原っぱと森の会 | 牧の植生を伝える里山の保全活動 | 白井市 |
| 61 | (特非)こびすくらぶ | 船橋市内受託森林の整備と保全 | 船橋市 |
| 62 | (特非)しろい環境塾 | 冬水田んぼと里山学校 2019 | 白井市 |
| 63 | (特非)いすみ竹炭研究会 | いすみ市の荒廃した山の竹藪整備と土壌改良活動 | いすみ市 |
| 64 | (特非)バランス21 | 谷当町の谷津田再生と里山林の環境再生保全(その4) | 千葉市 |
| 65 | (特非)森のライフスタイル研究所 | 山武市蓮沼殿下海岸林再生活動2019(3.11 復活の森づくり4) | 山武市 |
| 66 | 市原米沢の森を考える会 | 内田地区の自然と歴史・文化の保全再生活動 | 市原市 |

(特非)とは特定非営利活動法人の略です。

2 提案型環境再生事業への助成

千葉県の上環境上の課題に対し、県、市町村、県民の協働による迅速な解決を目指し実施する県民団体からの提案による環境再生に関する事業に助成をしています。

従来市町村に対しては、「市町村による戦略的自然再生事業助成金交付要綱」により支援をしてきましたが、支援制度の見直しにより、平成24年度事業から「提案型環境再生事業」として支援を行っています。

● 提案型環境再生事業の助成の状況

| 年 度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|-----|---------|-------|------|------|-------|
| 応募数 | 1事業 | 1事業 | — | — | — |
| 助成数 | 1事業 | 1事業 | — | — | — |
| 助成額 | 1,499千円 | 500千円 | — | — | — |

● 平成29～令和元年度の助成事業 なし

3 環境活動見本等普及啓発支援事業への助成

自然環境の保全・再生、資源循環型社会づくりに取り組む市町村、県民等の活動を広く周知し、県民の環境意識向上と積極的な参加を目指し実施する県民団体の環境活動に関する事業に対して、平成27年度事業から「環境活動見本市等普及啓発支援事業」として支援を行っています。

●環境活動見本市等普及啓発支援事業の助成の状況

| 年 度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 応募数 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 |
| 助成数 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 |
| 助成額 | 2,807千円 | 2,979千円 | 2,923千円 | 3,000千円 | 3,250千円 |


●令和元年度の助成事業

| 団体名・事業名 | 活動地域 | 事業概要 |
|--|----------------------------|---|
| エコmesseちば実行委員会 「エコmesse2019in ちば」 開催事業 | 千葉市美浜区 幕張メッセ国際 会議場ほか | 「持続可能な社会の実現」をメインテーマに、また「つながれ、ひろがれ、エコmesse」を合言葉に、適宜にあったテーマを設定して市民団体、企業、大学、行政など社会のさまざまな主体が参加・出展し、環境について子どもから大人まで楽しく学べる環境活動見本市「エコmesse in ちば」を毎年9月ごろに開催する。 |
| アースデイちば実行委員会 「環境イベントの運営・サポート」 | 県内全域 | 来場者・参加者が個人・企業レベルで、環境問題／リサイクル／地産地消を考え実践することが 持続可能な社会作りへの一歩であるということをイベントをとおして発信することで環境問題の普及に寄与することを目的としている。 また、参加団体がお互いの活動の情報を交換することで、千葉県内における環境問題に関するネットワークを構築することを目的としている。 |

●令和2年度の交付決定事業

| 団体名 | 事業名 | 活動地域 |
|--------------|----------------------|-----------------|
| エコメッセちば実行委員会 | 「エコメッセ2020in ちば」開催事業 | 県内全域 (幕張メッセ) |
| アースデイちば実行委員会 | 「第20回アースデイちば」 | 県内全域(稲毛海浜公園) |

●令和元年度の助成事業 活動事例紹介

| 環境活動見本市等普及啓発事業 | エコメッセちば実行委員会 「エコメッセ 2019in ちば」開催事業 |
|---|---|
| <p>持続可能な社会の実現”をメインテーマに、市民・大学・企業・行政による対等なパートナーシップのもとで実行委員会を組織し、1996年から毎年「環境活動見本市(エコメッセ)」を開催している。</p> <p>開催にあたっては、市民団体、大学、企業、行政等の環境保全に取り組む様々な団体が連携・協働し、「環境問題が社会に与える影響」、「環境問題に関する市民団体、企業、行政の取り組み」、「環境に配慮した製品・技術の紹介」などを、来場した子どもから大人までに楽しく・わかり易く伝え・学び・環境配慮行動に結び付けるきっかけとなる「千葉県最大の活動見本市」としている。</p> <p>2019年度は、SDGsの17テーマに分類した出展参加申し込みを行い、SDGsと私たちの生活との繋がりを知っていただける企画内容とした。</p> <p>1 開催結果概要</p> <p>(1)開催日 10月20日(日) 10:00～16:00</p> <p>(2)開催場所 幕張メッセ国際会議場(千葉市)</p> <p>(3)今年のテーマ「みんなで取り組むSDGs」</p> | <p>(4)来場者 10,500人</p> <p>(5)出展団体 113団体(166ブース) (企業33、市民活動団体41、行政26、大学・高校7、学生団体6)</p> <p>2 特別企画内容等</p> <p>特別企画としてエコステージ、SDGs体験パーク、ちばSDGsフォーラム、東京SDGs吹奏楽団演奏、COOL CHOICE、エコカー展示・試乗会、フードドライブ、食エコレンピ募集、JICA 海外協力隊と巡る世界のゴミ問題、千葉市子ども農業PR隊、オリンピック・パラリンピック協議体験など盛りだくさんの内容とした。</p>  |

4 未来の環境活動担い手支援事業への助成

助成事業の見直しにより、平成28年度事業から地域や職場で環境学習活動や環境保全活動を率先して行うことのできる人材の育成を目的として、必要な知識や技術を習得するための活動に助成をします。地域の教育力を活用した教育活動や部活動など将来の環境保全活動を担う人材育成に関する活動を支援していきます。

●未来の環境活動担い手支援事業の助成の状況

| 年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|-----|------|-------|-------|-------|
| 応募数 | 1事業 | 2事業 | 3事業 | 2事業 |
| 助成数 | 1事業 | 2事業 | 3事業 | 2事業 |
| 助成額 | 55千円 | 133千円 | 250千円 | 200千円 |

●令和元年度の助成事業

| 団体名・事業名 | 事業概要 | 活動地域 |
|---|---|------------------------|
| 千葉県立松戸南高等学校 科学研究部 「耕作放棄水田を復田し生態系再生を行うための非電力自動汲み上げ式ポンプ(水撃ポンプ)の開発及び運用の研究」 | 白井市の神崎川沿い八幡溜め(池)周辺の水田域には在来生物による水田生態系があったが、耕作放棄により外来種が侵入し始めている。そこで非電力自動汲み上げポンプを開発し常時水供給のできる水田ビオトープを作成し、メダカやドジョウなどの在来種が生息しやすい環境の再生を目指す。 | 千葉県立松戸南高等学校及び白井市根987付近 |
| 千葉県立市原八幡高等学校 「生徒による校内生物多様性の構築と村田川の希少生物の動態調査」 | 生徒自身による研究を通して、自分たちが住む地域の自然の豊かさを学ぶとともに、村田川に生息する希少生物の生育状況を把握し、自主的な探求学習と相互協力を養う。 | 市原八幡高等学校内、村田川流域 |

●令和2年度の交付決定事業

| 団体名 | 事業名 | 活動地域 |
|---------------------|-------------------------------|------|
| 千葉県立市原八幡高等学校 理科部 | 生徒による校内生物多様性の構築と村田川の希少生物の動態調査 | 市原市 |
| 千葉県立船橋芝山高等学校 | 船橋芝山高校ソメイヨシノ元気化プロジェクト | 船橋市 |

●平成元年度の助成事業 活動事例紹介

| | |
|--|---|
| <p>未来の環境活動担い手支援事業</p> | <p>千葉県立松戸南高等学校 科学研究部 「耕作放棄水田を復田し生態系再生を行うための非電力自動汲み上げ式ポンプ(水撃ポンプ)の開発及び運用の研究」</p> |
| <p>白井市の神崎川の上流部には、かつて八幡溜と呼ばれた池があり、在来生物による水田生態系があったが、水田の耕作放棄が進みメダカやドジョウなどの在来種が減少し、外来種が侵入しはじめてきた。</p> <p>そこで、本校科学研究部は、2016年2月から神崎川を守る会と共同で八幡溜横の耕作放棄水田に在来の水生生物種が生息しやすい環境を作ることとし、乾田化した耕作放棄水田への揚水方法の検討に着手した。</p> <p>1 水撃ポンプの開発・改良</p> <p>耕作放棄水田に発電機などの動力源が不要な低コストで自然に優しい「水撃ポンプ」を導入することにし、2018年度から校内で試作したポンプの予備試験を行い落差50cm、揚水高2mという条件で1分間に0.5%の汲み上げに成功した。</p> <p>2019年度は、揚水量1%以上を目指し、水撃ポンプの取水管や入力管の広径化などを変更し、さらなる揚水量増加を目指し安定した連続運転が可能となるよう試行している。</p> | <p>2 水田の復元</p> <p>耕作放棄地に4面(2m×2m×0.4m 深)の水田を造成し、古代米の栽培を行い、地元小学校の児童、保護者とともに田植え・生物観察会を開催した。</p> <p>復元した田んぼには、川からメダカやドジョウの遡上が確認されている。</p> <p>3 研究活動及び成果の発表等</p> <p>本調査研究成果は第5回全国ユース環境活動関東地方大会(2019年12月15日)の出場校に選ばれ、優秀賞をいただいた。</p> <p>(水撃ポンプ本体)</p>  |
| <p>未来の環境活動担い手支援事業</p> | <p>千葉県立市原八幡高等学校 理科部 「生徒による校内生物多様性の構築と村田川の希少生物の動態調査」</p> <p>当理科部は、2005年から校舎の屋上緑化やビオトープ作成を通して校内に多様な水環境を作り生物多様性の研究を始め、2011年からは学校周辺の生物の調査、村田川流域のトウキョウサンショウウオやアカハライモリ、スナヤツメなどの希少生物調査も行ってきた。</p> <p>特にトウキョウサンショウウオについては、産卵地の調査で採取したサンショウウオのDNAの個体群のDNA解析を行い、その成果を全国高等学校総合文化祭自然科学部門の千葉県代表として発表した。</p> <p>このような生徒自身が研究を通して、自分たちが住む地域の自然の豊かさを学ぶとともに、村田川に生息する希少生物の生育状況を把握し、自然環境保全の意識を高めてきた。</p> <p>2019年度の活動結果は、以下のとおりである。</p> <p>1 活動場所</p> <p>県立市原八幡高等学校校内、村田川及び周辺里山</p> <p>2 通年活動</p> <p>校内ビオトープ及び校外の自然環境を調査し、調査</p> <p>成果の取りまとめ、校内及び周辺環境の生物相がより豊かになるような取組を進めている。</p> <p>3 研究活動及び成果の発表等</p> <p>(1) かずさDNA研究所の「DNA研修会」に参加し、DNA解析方法を研修した。</p> <p>(2) 市原市市津公民館主催の自然観察会に講師補助として参加した。</p> <p>(3) 研究発表では、第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文)自然科学部門の千葉県代表として研究発表を行った。また、かずさDNA研究所の開所25周年記念事業の研究所一日公開において研究発表を行った。</p>  <p>「2019 さが総文」での発表</p> |

5 負の遺産対策事業への助成

廃棄物の不法投棄対策及び廃棄物処理法の規制前に処分された廃棄物の対策に助成する事業です。

●負の遺産対策事業の助成の状況

| 年 度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25～26 年度 | 27年度 | 28～30 令和元年度 |
|-----|----------|----------|----------|---------|--------------------|-------|----------------|
| 助成数 | 2事業 | 3事業 | 4事業 | 1事業 | 1事業 | 1事業 | - |
| 助成額 | 13,781千円 | 15,349千円 | 14,319千円 | 1,721千円 | 80,273千円 (年度繰越) | 274千円 | - |

6 ちば廃食用油燃料利用促進プロジェクト事業への助成

ちば環境再生基金では、平成28年度事業から使用済み天ぷら油などの廃食用油を県民参加により回収し、地球温暖化の原因である石油などの化石燃料から出る二酸化炭素を減らす取り組みの一環として、「廃食用油燃料利用促進プロジェクト事業」を実施し、市町村、県民団体への支援を開始しました。

| 廃食用油燃料利用促進プロジェクト事業の概念図 | 廃食用油回収地点整備事例 (使用済み天ぷら油) |
|---|---|
| <p>植物の光合成により二酸化炭素を吸収</p> <p>植物からつくられるてんぷら油</p> <p>使用済みてんぷら油循環図</p> <p>使い終わったてんぷら油</p> <p>ペットボトルなどに入れて回収箱へ</p> <p>燃料精製プラント</p> <p>ディーゼル自動車 重油ボイラーなどの燃料へ</p> <p>二酸化炭素</p> | <p>フード式ベランダストッカー(120L) ポール、ポールスタンド設置例</p> |

●廃食用油燃料利用促進プロジェクト事業の助成の状況

| 年 度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 応募数 | 6事業 | 8事業 | 5事業 | 5事業 |
| 助成数 | 6事業 | 8事業 | 5事業 | 5事業 |
| 助成額 | 492千円 | 551千円 | 426千円 | 439千円 |

●令和元年度の助成事業


| 回収地点整備助成事業実施団体 | | 活動地域 |
|----------------|------------|-------|
| 1 | 横芝光町 | 横芝光町 |
| 2 | 農業を楽しむ会 | 大網白里市 |
| 3 | ちば油畑プロジェクト | 船橋市 |
| 4 | (株)誉田新聞販売 | 千葉市 |
| 5 | ちば環境再生県民の会 | 松戸市 |

| プロジェクト事業参加団体名 |
|---|
| 【廃食油回収活動 13 団体】 ①千葉市、②勝浦市、③横芝光町、④(株)誉田新聞販売(千葉市)、⑤幸町 15 街区自治会(千葉市)、⑥(特非)コミュニティひまわり(八千代市)、⑦ちば油畑プロジェクト(船橋市)、⑧農業を楽しむ会(大網白里市)、⑨ちば環境再生県民の会(松戸市)、⑩下田ふれあい交流施設管理運営組合(千葉市)、⑪鷹の台自治会(千葉市)、⑫新鷹の台第二自治会(千)、⑬千代の台自治会(千葉市) |
| 【廃食油収集活動 5 団体】 ①ちば油畑プロジェクト、②南武(株)(環境事業部)、③大金興業(株)、④(特非)ちば食用油リサイクル推進ネットワーク ECO シナジー、⑤ちば環境再生県民の会 |

●令和2年度の交付決定団体

| 回収地点整備助成事業実施団体 | | 活動地域 |
|----------------|---------|-------|
| 1 | 横芝光町 | 横芝光町 |
| 2 | 農業を楽しむ会 | 大網白里市 |

●令和元年度の助成事業 活動事例紹介

| 廃食油燃料利用促進プロジェクト事業 | 農業を楽しむ会 「廃食油回収活動」 |
|--|---|
| <p>近年、大型台風・竜巻の発生、30 度以上の真夏日の連続発生し、地球が大きな病にかかっている。地球温暖化の影響ではと思われるような状況だ。</p> <p>当会は地球を、日本を、大網白里市をもっと住みやすくしなければとの思いで、身近なところから何ができるか考え、2010 年から県の地域活性化プラットフォーム事業の支援を受け「家庭のてんぷら油の回収プロジェクト事業」を開始した。2013 年度からは大網白里市住民協働事業、2015 年度にはちば環境再生基金の廃食油燃料利用促進プロジェクト事業に参画し事業を実施してきた。</p> <p>2019 年度の活動は、以下のとおりである。</p> <p>1 活動場所 大網白里市内2か所(主婦の店大網店、JA 緑の風)</p> <p>2 活動内容 (1)廃食油回収装置「ゆかいくん」の維持管理 天かす等の清掃 (2)BDF 製造事業者への回収廃油の引き渡し</p> | <p>(3)市民への普及啓発活動の実施</p> <p>お知らせ用チラシ・ポスターの作製・配布・掲示、「ゆかいくん」による廃食油の回収が地球温暖化防止につながることを地域情報誌に掲載し、地域住民の環境意識の高揚に努めている。</p> <p>日本の植物油の年間消費量 246 万トンのうち、家庭から 25 万トンの使用済み廃油が発生し、その大半がゴミとして捨てられている。家庭の廃油を回収し、農業用トラック燃料(BDF)として利用することにより、農業を楽しみながら自給自足できる循環型システムが構築できる。最近では、EM(有用微生物群)と廃油を使って環境にやさしいEM石鹼を作っている。</p> <p>廃食油回収装置「ゆかいくん」</p>  |

Ⅲ 啓発・募金活動

県民総参加の活動とするために、職場内募金の依頼等を行いました。

1 募金の状況

● 年度別受入額

令和2年3月31日現在

| 区 分 | 件 数 | 金 額 |
|-------|--------|----------------|
| 13年度 | 30件 | 2,991,786円 |
| 14年度 | 422件 | 521,623,080円 |
| 15年度 | 466件 | 560,463,458円 |
| 16年度 | 655件 | 7,643,154円 |
| 17年度 | 603件 | 7,719,124円 |
| 18年度 | 582件 | 8,379,501円 |
| 19年度 | 584件 | 26,737,759円 |
| 20年度 | 573件 | 11,906,692円 |
| 21年度 | 516件 | 12,491,176円 |
| 22年度 | 441件 | 11,244,525円 |
| 23年度 | 369件 | 8,336,860円 |
| 24年度 | 419件 | 7,294,195円 |
| 25年度 | 384件 | 6,175,946円 |
| 26年度 | 401件 | 5,989,815円 |
| 27年度 | 392件 | 6,801,899円 |
| 28年度 | 402件 | 7,600,963円 |
| 29年度 | 403件 | 5,852,352円 |
| 30年度 | 361件 | 6,532,618円 |
| 令和元年度 | 351件 | 7,629,402円 |
| 合 計 | 8,354件 | 1,233,414,305円 |

(1) 令和元年度募金者別募金の状況

令和2年3月31日現在

| 募金区分 | 個人からの 寄付 | 様々な募金 活動による募金 | 企業・団体 からの寄付 | 職場で集め られた募金 | その他 (利息) | 合計 |
|--------|-------------|------------------|----------------|----------------|-------------|-----------|
| 件 数 | 1 | 15 | 39 | 279 | 17 | 351 |
| 金 額(円) | 10,000 | 128,420 | 5,506,875 | 1,749,364 | 234,743 | 7,629,402 |

ア 個人からの寄付

1名の方から寄付がありましたが、氏名、金額の公表は差し控えさせていただきます。

イ 募金活動による募金

当財団が参加した環境関連イベント及びちば犬着ぐるみを貸し出したイベントにおける募金活動による募金がありました。(2、(1)及び(2)参照)

ウ 企業団体からの寄付

次の企業、団体、エコちばコイン参加ホテルから寄付が寄せられました。

| | | |
|--|---|---|
| アコレ(株) あいおいニッセイ同和損害保険(株) 千葉支店 イオンリテール(株)南関東カンパニー (株)市原ニューエナジー 宇部興産(株)千葉石油化学工場 (株)遠藤製作所 AGC(株)千葉工場 (株)カスミ 共同ガス(株) (株)京葉銀行 サッポロビール(株) 昭和電工(株)市原サイト社員一同 | 竹内建設(株) 大成企業(株) (株)タクマテクノス東金事業所 大成建設千葉(株)支店安全衛生環 境協力会 (一社)千葉食品コンビナート協議会 千葉県電力総連 千葉県酒類販売(株) テラサイクルジャパン トヨタ部品千葉共販(株) (株)ナリコー (株)日動自販 KH ネオケム(株)千葉工場 | ハイテックケミ(株) 東日本資源リサイクル(株) マルエスメタル(株) 山喜興業(株) (株)ヨークマート ライオン(株)千葉工場 成田Uーシティホテル 成田エアポートレストハウス 公立学校共済組合千葉宿泊所 国民宿舎サンライズ九十九里 休暇村館山 ホテルファミリーオ館山 |
|--|---|---|

エ 職場募金

次の企業、団体等から職場募金がありました。

(企業)

| | | |
|--|--|--|
| 旭化成(株)製造統括本部川崎製造 所千葉工場一同 (株)アマダミヤチ (株)市原ニューエナジー 出光興産(株)千葉事業所 AGC(株)千葉工場 (株)鎌ヶ谷カントリークラブ 関東天然瓦斯開発(株) 君津共同火力(株) 京成ホテルミラマーレ | (株)ケイハイ従業員一同 公立学校共済組合千葉宿泊所 コスモ石油(株)千葉製油所 (株)合同資源千葉事業所 住友化学(株)千葉工場 社員一同 宝酒造(株)松戸工場 月島テクノメンテサービス(株) ティー・エム・ターミナル(株) 東京ガス(株)袖ヶ浦 LNG 基地 日本天然ガス(株) | 日本製鉄(株) 君津製鉄所 日本製粉(株)千葉工場及び協力会社 (ニッポンロジス・楠原輸送) 日本製鉄(株)技術開発本部 富士石油(株) 双葉電子工業(株)社員一同 三井化学(株)市原工場 社員一同 (株)ユーベック リ・パレット(株) |
|--|--|--|

(県、市町村及び団体)

| | | |
|---|---|---|
| 国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所 千葉県後期高齢者医療広域連合 千葉県庁(248所属) 市川市 環境部 循環型社会推進課 柏市役所 環境政策課 柏市増尾近隣センター 君津市役所 環境保全課 佐倉市 生活環境課 千葉市 環境局 環境保全課 八千代市経済環境 環境保全課 白子町役場 会計管理者 東金市外三市町清掃組合 かずさ水道広域連合企業団 | 千葉県信用保証協会 千葉県職業能力開発協会 千葉県住宅供給公社 千葉県道路公社 (一財)千葉県環境財団 (一財)千葉県勝浦海中公園センター (一財)千葉県まちづくり公社 (一社)千葉県産業資源循環協会 (公財)千葉県学校給食会 (公財)千葉県教育振興財団 (公財)千葉県建設技術センター (公財)千葉県下水道公社 (公財)千葉県産業振興センター (公財)千葉県文化振興財団 | (公社)千葉県緑化推進委員会 (福)千葉県身体障害者福祉事業団 全国農業協同組合連合会千葉県本部 全国共済農業協同組合連合会千葉県本部 千葉県農業協同組合中央会 千葉県厚生農業協同組合連合会 とうかつ中央農業協同組合 ちば東葛農業協同組合 かとり農業協同組合 千葉商工会議所 コープみらい千葉県本部 なりた環境ネットワーク 永楽台近隣センター(柏市) |
|---|---|---|

(2)大口寄付者

大口寄付者とは、5万円以上寄付した個人及び10万円以上寄付した法人・団体とし、基金運営規程第23条に基づき、原則として、名称(氏名)及び寄付金額を公表しています。

| 名称及び寄付内容 | 寄付額(円) |
|--------------------------|-----------|
| 株式会社カスミ(レジ袋有料化に伴う売上金の一部) | 2,120,768 |
| イオンリテール株式会社南関東カンパニー | 716,176 |
| 株式会社京葉銀行 | 663,865 |
| 大成建設株式会社千葉支店安全衛生環境協力会 | 321,179 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社千葉支店 | 300,000 |
| 千葉県酒類販売株式会社 | 200,210 |
| AGC 株式会社千葉工場 | 167,876 |
| 株式会社ヨークマート | 164,864 |
| 三井化学株式会社市原工場 | 160,100 |
| アコレ株式会社(レジ袋有料化に伴う売上金の一部) | 157,770 |
| サッポロビール株式会社 | 121,776 |
| 双葉電子工業株式会社社員一同 | 108,911 |
| 住友化学株式会社千葉工場 | 105,944 |
| 昭和電工株式会社市原サイト社員一同 | 100,000 |
| 月島テクノメンテサービス株式会社 | 100,000 |
| 千葉県電力関連産業労働組合総連合 | 100,000 |

(3)ちば環境再生基金顕彰規程に基づく感謝状の贈呈

募金活動に功績のあった個人、法人及び団体に対し、ちば環境再生推進委員会会長から感謝状を贈呈しています。顕彰の対象は、初回の寄付又は前回の顕彰後の寄付からの寄付金額の合計が個人にあっては10万円以上、法人・団体にあっては20万円以上のものであって、会長名の感謝状を贈呈しました。

| 顕彰日 | 寄付者名 |
|----------|-----------------------|
| 元年 5月30日 | イオンリテール株式会社南関東カンパニー |
| 6月18日 | 株式会社京葉銀行 |
| 7月12日 | 大成建設株式会社千葉支店安全衛生環境協力会 |
| 7月25日 | 月島テクノメンテサービス株式会社 |
| 10月31日 | 千葉県酒類販売株式会社 |
| 11月 27日 | 住友化学株式会社千葉工場 |
| 12月 2日 | 三井化学株式会社市原工場 |
| 12月 5日 | 富士石油株式会社袖ヶ浦製油所 |
| 12月11日 | 双葉電子工業株式会社 |
| 12月12日 | AGC 株式会社千葉工場 |

イオンリテール株式会社
東関東カンパニー



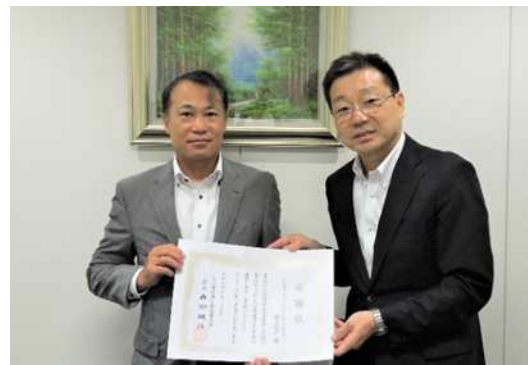
株式会社京葉銀行



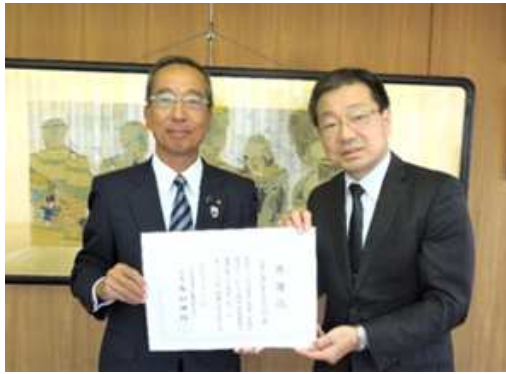
大成建設株式会社千葉支店
安全衛生環境協力会



月島テクノメンテサービス株式会社



千葉県酒類販売株式会社



住友化学株式会社 千葉工場



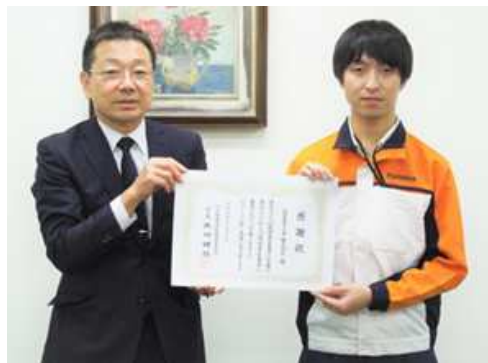
三井化学株式会社 市原工場



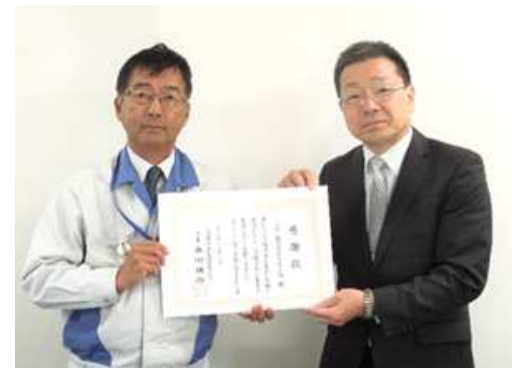
富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所



双葉電子工業株式会社



AGC株式会社 千葉工場



企業等の皆様からの御支援を県民・環境NPO等への活動支援や
未来の環境活動を担う人材育成に繋げます。
ありがとうございました。

2 啓発・募金活動

県民総参加の活動とするために、環境問題に関する啓発活動、基金事業の広報等を行いました。

(1) 環境関連イベント等への参加

| 開催日 | イベント名 | 開催地 |
|-------------|-------------------|-----|
| 4月27日(土) | 第90回千葉県中央メーデー | 千葉市 |
| 6月9日(日) | 第44回五井臨海まつり | 市原市 |
| 6月22日(土) | 第22回ふなばし環境フェスタ | 船橋市 |
| 10月20日(日) | エコメッセ2019 in ちば | 千葉市 |
| 10月27日(日) | JFEちばまつり2019 | 千葉市 |
| 11月23日(土、祝) | いきいきフェスタ TAKO2019 | 多古町 |

(2) ちば犬着ぐるみの貸し出し

| 貸出日 | イベント名 | 開催場所 | 開催地 |
|-----------------------|---------------------------|-------------|-----|
| 6月24日(金)～ 6月25日(土) | 三井化学(株)市原工場 「社内環境月間活動」 | 三井化学(株)市原工場 | 市原市 |

(3) 公共施設への募金箱等の設置



ちば環境再生基金募金箱

(4)活動ニュースの発行

NPOへの活動助成、なのはなエコプロジェクトの状況、イベントへの参加状況など基金の活動状況や成果を報告するため、活動ニュースを作成し、NPOや職場募金を実施していただいた事業所などに配布しました。

●第22号 令和2年3月31日 発行部数 3,000部

内容 ・募金状況について(令和2年3月末)・企業活動による基金への支援

- ・令和元年度の市町村イベントへの参加状況
- ・「エコちばコイン」のご案内及び参加ホテル一覧
- ・環境活動への支援状況(令和元年度及び2年度)

(5)ホームページ(<https://www.ckz.jp/saisei/>)の充実他

毎月、基金のホームページを更新し、新しい活動状況、成果などの情報を発信しました。

(6)エコちばコインの実施

宿泊客が自然環境の保全・再生に貢献するエコちばコインの趣旨に賛同し、歯ブラシなどのアメニティグッズを1つも使用しなかった場合、客室に備えつけられたコインをフロントの回収箱に投じることにより、投げられたコインの枚数に応じてホテルから「ちば環境再生基金」に寄付するものです。

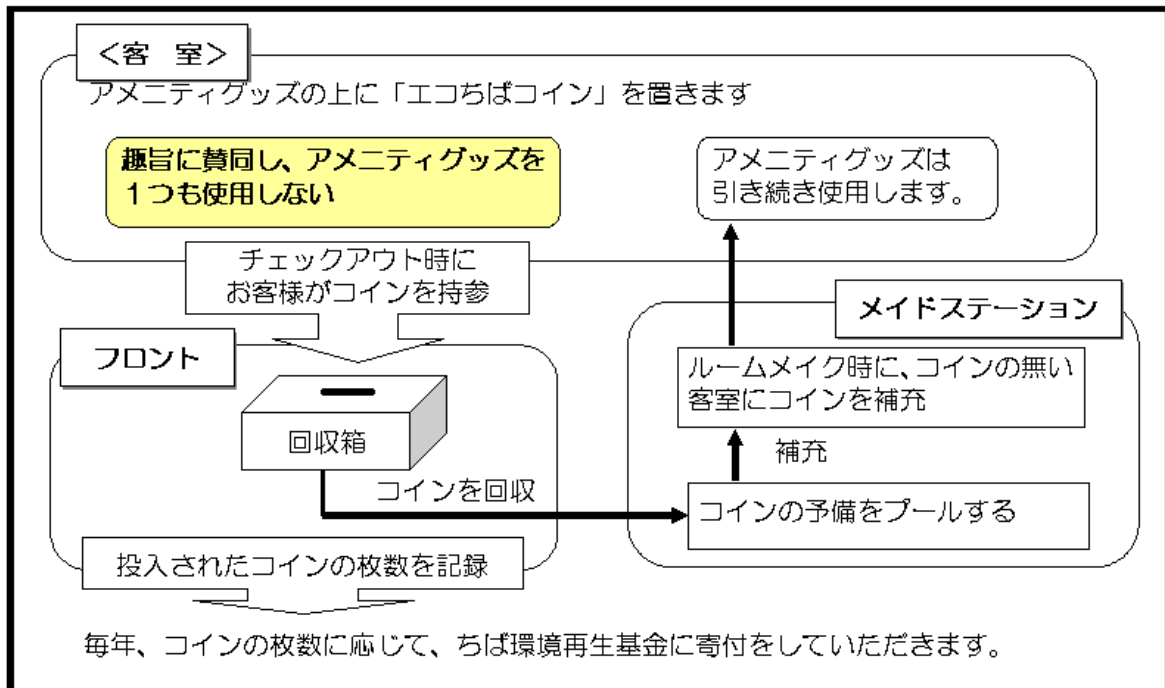
令和元年度は、引き続き、次頁に記載の6ホテルにご協力いただいております。

●コイン回収状況

令和2年3月31日現在

| 年 度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|------------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 枚 数 (枚) | 4,977 | 4,003 | 2,277 | 2,264 | 2,035 | 1,867 | 1,381 | 1,219 |
| 寄付額 (円) | 150,940 | 117,810 | 59,130 | 70,310 | 64,530 | 57,280 | 44,760 | 35,750 |

■ エコちばコイン制度のしくみ ■



エコちばコイン



回収箱

●参加ホテル

| 宿泊施設名 | 所在地 | 開始年月 |
|---------------|-------|-------|
| ホテルポートプラザちば | 千葉市 | 17年4月 |
| 成田エアポートレストハウス | 成田市 | 17年4月 |
| 成田Uーシティホテル | 成田市 | 17年4月 |
| 休暇村館山 | 館山市 | 17年4月 |
| ホテルファミリーオ館山 | 館山市 | 17年6月 |
| 国民宿舎サンライズ九十九里 | 九十九里町 | 17年9月 |

IV 会議の開催状況

1 ちば環境再生推進委員会の開催状況

<第1回>

- ・ 日時:令和元年10月17日(木)午後3時から
- ・ 場所:ホテルプラザ菜の花 4階 特別会議室
- ・ 議題 ① 平成30年度事業報告及び決算について(報告)
② 令和元年度上期の事業実施状況について(報告)
③ 令和元年度下期の事業予定及び収支見込みについて(報告)
④ その他(「ちば環境再生基金」の役割とあり方)

<第2回>

- ・ 日時: 書面による審議
- ・ 場所:
- ・ 議題 ① 令和元年度事業報告について
② 令和元年度事業決算見込みについて
③ 令和2年度事業計画(案)について
④ 令和2年度事業当初予算(案)について
⑤ その他

2 各部会の開催状況

ア 事業推進部会

<第1回>

- ・ 日時:令和2年1月22日(水) 午後2時から
- ・ 場所:ポートプラザちば 3階 すずらん
- ・ 議題 ① 令和元年度ちば環境再生基金助成事業申請状況について
② 令和元年度ちば環境再生基金助成事業第1次審査について
③ その他

<第2回>

- ・ 日時:令和2年2月27日(木) 午後1時から
- ・ 場所:ホテルプラザ菜の花 4階 羽衣
- ・ 議題 ① 令和元年度県民の環境活動支援事業第2次審査について
・ 申請団体によるプレゼンテーションの実施 3団体
② 令和元年度環境活動見本市等普及啓発支援事業第2次審査について
・ 申請団体によるプレゼンテーションの実施 2団体
③ 第2次審査結果の取りまとめ
④ その他

イ ちば環境再生基金助成金説明会/平成30年度活動成果発表会

- ・ 日時:令和元年10月30日(水) 午後1時から
 - ・ 場所:千葉市生涯学習センター 3階 大研修室
- (第1部)助成金説明会
- ① 令和元年度活動助成金の募集について
 - ② 助成申請書の作成ポイント
 - ③ 実績報告書の作成ポイント
 - ④ 質疑
- (第2部)成果発表会
- ① 「耕作放棄水田を復田し生態系再生を行うための非電力自動汲み上げ式ポンプ
(水撃ポンプ)の開発及び運用の研究」
千葉県立松戸南高等学校科学研究部
 - ② 「銚子市君ヶ浜環境調査」
(特非)銚子海洋環境調査隊
 - ③ 「九十九里浜における海浜植物の保護活動」
街資源再興プロジェクト
 - ④ 「いすみ市の荒廃した山の竹やぶ整備と土壌改良活動」
NPO法人いすみ竹炭研究会
 - ⑤ 「船戸古墳地の里山保全」
手賀沼里山クラブ
 - ⑥ 「市川市の環境整備」
いちかわ里山整備隊

V 令和元年度決算

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

| 資 産 | | 負債及び正味財産 | |
|----------------|-------------|---------------|---------------|
| I 資産の部 | | II 負債の部 | |
| 1 流動資産 | | 流動負債 | |
| 未収金 | 3,022,864 | 未払金 | 2,836,391 |
| 流動資産合計 | 3,022,864 | 他会計借入金 | 186,473 |
| 2 固定資産 | | 流動負債合計 | 3,022,864 |
| (1) 特定資産 | | | |
| ①ちば環境再生基金預金 | | III 正味財産の部 | |
| 149,731,714 | | 1 指定正味財産 | 826,850,685 |
| ②ちば環境再生基金預金未収金 | | (うち基本財産への充当額) | (0) |
| 2,118,971 | | (うち特定資産への充当額) | (0) |
| ③ちば環境再生基金定期預金 | | | (826,850,685) |
| 475,000,000 | | 2 一般正味財産 | 1 |
| ④ちば環境再生基金有価証券 | | (うち基本財産への充当額) | (0) |
| 200,000,000 | | (うち特定資産への充当額) | (0) |
| 特定資産合計 | 826,850,685 | 正味財産合計 | 826,850,686 |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 器具備品 | 1 | | |
| その他固定資産合計 | 1 | | |
| 固定資産合計 | 826,850,686 | | |
| 資産合計 | 829,873,550 | 負債及び正味財産合計 | 829,873,550 |

正味財産増減計算書

自:平成31年4月1日

至:令和2年3月31日

(単位:円)

| 増 加 | | 減 少 | |
|-----------|------------|---------------------|-------------|
| I 増加原因の部 | | II 減少原因の部 | |
| 1 寄附金収入 | 7,394,659 | 1 県民の環境活動支援事業助成金 | 11,874,000 |
| 2 補助金収入 | 11,009,835 | 2 提案型環境再生事業助成金 | 0 |
| 3 利息収入 | 234,743 | 3 環境活動見本市等普及啓発支援事業 | 3,250,000 |
| 4 助成金戻り収入 | 180,355 | 4 未来の環境活動担い手支援事業 | 200,000 |
| | | 5 廃食油燃料利用促進プロジェクト事業 | 439,000 |
| | | 6 負の遺産対策事業 | 0 |
| | | 7 啓発事業費 | 901,800 |
| | | 8 管理費 | 11,009,835 |
| | | 9 事務費 | 1,304,618 |
| 増加原因の部合計 | 18,819,592 | 減少原因の部合計 | 28,979,253 |
| | | 当期正味財産増減額 | △10,159,661 |
| | | 正味財産期首残高 | 837,010,347 |
| | | 正味財産期末残高 | 826,850,686 |

お問い合わせ先:一般財団法人千葉県環境財団
〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目11番1号
Tel. 043-246-2091(代) Fax.043-247-4152
基金のホームページ <https://www.ckz.jp/saisei/>